

# 人はなぜ表現するのか？

〈表現の魅力を探訪する講座〉



人の心を震わせる文章。それまでの生き方を変えてしまうほどの映画。

ものの見方が変わってしまう演劇。そういう表現との出会いがある。

あるいは、逆に表現することで自分を救うこともあるだろう。親しい人との別れを詩にすることで、乗り越えることも可能なのだ。

この講座は、**文章、演劇、映画、写真**という四つの表現を横断しながら、その特徴と魅力を紹介する講座である。

こんな見方があったのかという、驚きの発想との出会い。

いわば、表現を表現するというテーマを味わう連続講座である。

今回無料

定員 **80名**

○開催日時

令和元年9月14日(土)

13:30~15:00

\*今回は、場所が違います。  
ご注意を

○場所

前橋文学館 3階ホール

371-0022 前橋市千代田町3-12-10

連続講座受講者優先

新規申込者が多数の場合、抽選になります。

○講師 **萩原朔美** 前橋文学館館長

1946(昭和21年)、東京生まれ。映像作家、エッセイスト、多摩美術大学名誉教授。母は小説家の萩原葉子、母方の祖父は萩原朔太郎。演出家として活躍の後、サブカルチャー誌「ビックリハウス」をパルコ出版より創刊し、初代編集長に。著書に、『思い出のなかの寺山修司』『演劇実験室天井桟敷』の人々』『死んだら何を書いてもいいわ』の他、母親との共著『小綏鶏の家—親でもなく子でもなく—』など。2016年4月から現職。

申し込み開始 令和元年8月1日

締切 令和元年9月9日

申し込み方法 FAXもしくは電話で

371-0022 前橋市千代田町3-12-10

前橋文学館友の会

「表現の魅力を探訪する講座」係

TEL 027-235-8011(呼び出し)

FAX 027-235-8512

申込用紙は裏側

# 追加講演・写真展

表現の魅力を探訪する講座

参加申込書

令和元年 月 日

氏名	(フリガナ)	
住所	〒 _____	
連絡先	携帯電話	固定電話
	メールアドレス	
連絡事項	<u>希望等がございましたらお書きください。</u>	

◎申し込み開始 令和元年8月1日

◎締め切り 令和元年9月9日

FAX 番号 027-235-8512 (前橋文学館)